

第3回墨田区介護保険事業運営協議会 議 事 要 旨

日 時 平成19年3月29日（木） 午後1時30分から
場 所 すみだリバーサイドホール 会議室

- 1 開会
- 2 平成18年度介護保険事業の実績について【資料1】
- 3 サービス部会活動状況について【資料2】
- 4 墨田区要支援認定者調査集計結果速報について【資料3】
- 5 その他報告事項
 - ・地域支援事業の進捗状況について【資料4】
 - ・地域密着型サービスの進捗状況について【資料5】
- 6 閉会

配布資料

- 【資料1】平成18年度介護保険事業の実績
- 【資料2】ケアマネジャー交流会グループワークメモ
- 【資料3】墨田区要支援認定者調査 集計速報値
- 【資料4】地域包括支援センターの運営状況
- 【資料5】地域密着型サービスの整備状況

介護保険特集号（平成19年2月21日発行号）
パンフレット 「はじまりました！介護予防サービス」

第3回墨田区介護保険事業運営協議会出席者

氏名	所属	出欠
◎平岡 公一	お茶の水女子大学教授	出席
○廣瀬 真理子	東海大学教授	出席
大山 博司	すみだ医師会	出席
宮奈 基次	東京都向島歯科医師会	出席
柳 正明	墨田区薬剤師会	出席
相馬 正之	すみだ地域リハビリテーション連絡会	出席
田中 三伊	墨田区民生委員協議会会長	欠席
海宝 雄次	墨田区社会福祉事業団事務局長	出席
庄司 孝憲	墨田区社会福祉協議会	欠席
羽生 隆司	特別養護老人ホームたちばなホーム施設長	出席
○阿部 博道	弁護士（墨田区法律相談員）	出席
加瀬 三郎	墨田区障害者団体連合会会長	欠席
高松 一治	墨田区老人クラブ連合会会長	出席
安藤 倉子	町会・自治会	出席
及川 栄子	墨田区介護保険応援ボランティア代表	出席
濱田 康子	すみだケアマネジャー連絡会代表	出席
佐藤 悟	墨田区訪問介護事業者連絡会副会長	出席
大下 千鶴子	第1号被保険者	出席
清水 正孝	第2号被保険者	出席
加藤 みさ子	第2号被保険者	出席
岡田 貢	墨田区企画経営室長	出席
横山 信雄	墨田区福祉保健部長	欠席
西田 みちよ	墨田区保健衛生担当部長	出席
松竹 耕治	墨田区高齢者福祉担当部長	出席

◎ 会長 ○ 副会長

事務局出席者

井上 俊策	介護保険課長	吉倉 信広	高齢者福祉課長
市川 幹夫	介護保険課管理・計画主査	谷村 重夫	介護保険課事業者指導主査
江上 寿恭	高齢者福祉課高齢者支援主査	野原 佳久	高齢者福祉課高齢者相談主査

1 開 会

(事務局) ただいまから、第3回墨田区介護保険事業運営協議会を開催する。

2 平成18年度介護保険事業の実績について

(事務局) 資料1について報告(略)

(A委員) 在宅給付費の説明があったが、介護保険事業計画の見込みと比較するとどのような状況か。

(事務局) 計画の見込みと比較すると少なくなっているが、新しくできた地域密着型サービスを合わせると、総体的には増加している状況にある。

3 サービス部会活動状況について

(副会長) 資料2について報告(略)

(B委員) 介護福祉士の記事が新聞紙上に掲載されていたが、現場の状況を見るとあまりにも係員に対する処遇がよくない。きちんと生活ができるようにすることが大切である。

(副会長) 現場の人がやる気をおこすような工夫が必要であり、サービス部会でも具体的な処遇改善について検討する必要がある、意見等がありましたら部会で反映させていきたい。

(事務局) 介護職の人材確保をするのは、大変困難な状況であると事業関係者から聞いているが、介護職場に長くいられるよう、また安定した生活ができる報酬が得られるように、今後とも国等に要望していきたい。あわせて事業者側にも報酬を引き上げる努力をお願いしたい。

(会 長) 都社会福祉協議会委員として、人材確保の問題について検討しており、処遇の問題は切実なものとして議論している。今の介護保険の仕組みだと都・区とも処遇改善をすることは難しい。利用者が望む、介護の内容を調査したうえで、そのために必要な人材確保・処遇等について、国等に働きかける必要がある。

(A委員) 認定の問題について、本来、予防ではない人も予防の中に入ってしまうのではないか。

(副会長) 緊急時の対応が完成されておらず、根本的な解決が望まれる。

(事務局) 地域における「見守りネットワーク」みたいなものをつくる必要がある。

(C委員) 区側から、地域の町会へもっと働きかけをしてほしい。

(事務局) 町会にも働きかけを行っているが、基盤が弱いという面もあるが民生委員、事業者を含めての仕組みをつくる必要がある。

(D委員) 様々な要望の窓口として、都・国関係にはあるのか。そこに訴えるべきである。

(会 長) 引き続きサービス部会で検討をお願いしたい。

4 墨田区要支援認定者調査集計結果速報について

(事務局) 資料3について報告(略)

(会 長) 設問15の介護予防の取り組みに関する回答について、実際に予防につな

がるものなのかどうか、専門家からの意見をうかがいたい。

(副会長) サービス部会の話し合いの内容としてだが、平均年齢81.1歳ということで、予防サービスを受けることが果たしてニーズに合っているのかどうか。

(事務局) 実際にどれだけニーズに沿ったサービスの提供をしているかという点、運動器の機能向上はある程度の実績はあるが、栄養改善・口腔機能向上については、まだほとんど行われていない。

(C委員) 70歳代の人間を対象とした介護予防事業が必要ではないか。年齢的に80歳代はどうか問題はないか、認知症・転倒防止などが介護予防と思われるが。自分から地域包括支援センターに行く人は少ないので、介護予防についての事業を地域でやってほしい。

(事務局) 現段階では、地域包括支援センターで事業をするのは難しい。

(E委員) 介護予防での81歳は年齢的に高く予防は難しい状況ではないか。70歳代から介護予防事業に参加し、80歳以降も引き続きキープできればより良いのではないか。介護予防は、若い年齢層のほうが効果的であると思える。

(副会長) 区側として、今回の調査をした結果について、何か想定外の事項等は見受けられたか。

(事務局) 介護予防について理解できているかどうかは別として、介護予防についての関心・意識は高く、これからも区民のニーズに合った各種事業を提供していく必要がある。

(副会長) 今回の調査結果の公表はいつごろになるか。

(事務局) 第4期の介護保険事業計画に内容を反映させるとともに、区のホームページにその結果を掲載する予定である。

(F委員) 設問8で、思っていたよりも違う感じがしたという人が6割強いるが区としてどうとらえ、どう判断しているのか聞かせてほしい。

(事務局) 認定結果に対する設問であるが、多くの方が介護度を重度に判定してもらいたいと思っているなかで、今回、要支援1・2の比較的軽度の方について調査をしたわけだが、いずれにせよ今後とも認定調査を行う時点で適正かつ正確に利用者の状態を把握するべく、より一層調査を充実・向上させていきたい。

5 その他報告事項

(事務局) 資料4について報告(略)

資料5について報告(略)

6 閉会

(会長) 以上で閉会する。